

第127回 タイアツプCMを変えた GS最強のシングル盤

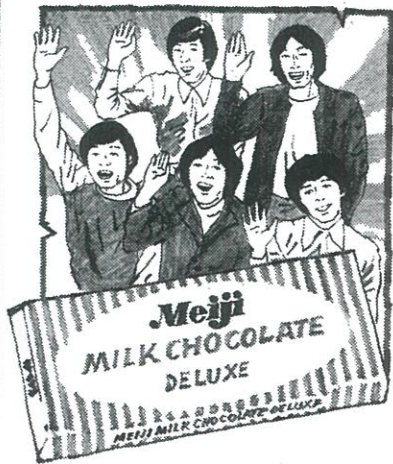
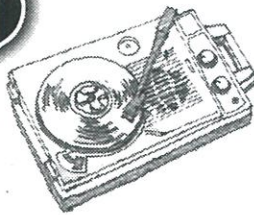
『象印 スターものまね大合戦』がスタートしたのは昭和42年1月ですが、ちょうどGSのタイガースが『僕のマリ』でデビューするのは、その翌月のことでした。瞬くうちに人気が沸騰、1年も経たない翌43年1月に発売された第4弾シングル『君だけに愛を』でタイガースはGSアイドルの頂点に立ちます。十代の少女たちを熱狂させるその凄まじい人気に目をつけたのが明治製菓でした。明治製菓を代表するチョココレートのCMソングといえば、昭和41年から流れ始めた「チョココレート、チョココレート、チョココレートは明治」(詞曲共・いずみたく)がおなじみですが、初期はスリー・グレイセスやハニト・ナイツなどのコーラスグループが歌い、若き日の石坂浩二などの映像に重ねていました。

魅力的なスキヤットが挿入されます。ただし、このメロディーは『君だけに愛を』のB面曲『落葉の物語』

名曲カルテ

昭和歌謡と いままで

堀井六郎
絵 松本浦



(詞・橋本淳、曲&編・すぎやまこういち)で聞かれる旋律と同じものだったことから憶測すると、曲作りの段階からすでに菓子メーカーとのタイアツプが検討され、『落葉の物語』の歌詞に出てくる「愛のシヨコレート」というチョココレートを意味するフランス語(本来はシヨコラ)の使用も意図的なものだったことがうかがえます。ご存知のファンも多いかと思いますが、CMで使われた『落葉の物語』のサビの旋律は、サラ・ヴォーンなどの黒人女性歌手が歌った『ラヴァーズ・コンチェルト』、そしてその元歌となった賛美歌『荒野の果てに』、バッハの『ト長調のメヌエツト』を参考に創作されています。クラシックに造詣の深いすぎやまこういち氏は、『落葉の物語』がシングルB面ではありながら、そこにビートルズ的なオーケストレーションを挿

入、チェンバロの使用もバロック風味を出すためだけでなく、ビートルズのバラード曲『イン・マイ・ライフ』などが意識下にあったのかもしれない。

あらためて『落葉の物語』を聴いてみると、ビートルズ同様、タイガースがコーラスグループとして非常にすぐれたバンドだったことがわかります。メンバーの音域の広さや声質の豊かさがバラエティーに富んだ彼らのヒット曲に十分生かされていて、作・編曲担当のすぎやまの才能の片鱗がうかがえます。私見ですが、『君だけに愛を』/『落葉の物語』のカップリングはGS最強のシングル盤でしょう。

そうそう、私が初めてバレンタインデーのことを知り、女の子から手紙付きのチョコをもらったのが、共学だった高1の昭和43年2月14日、タイガースのCMがブラウン管から流れている頃のことでした。手紙付きチョコがクラスの男子全員に届けられたことは、すぐに判明したのですが(笑)。

グリコのポッキー、ロッテのガINAチョコ等のCMにアイドルが持ち歌とともに登場してくるのは、もう少し先のお話になります。